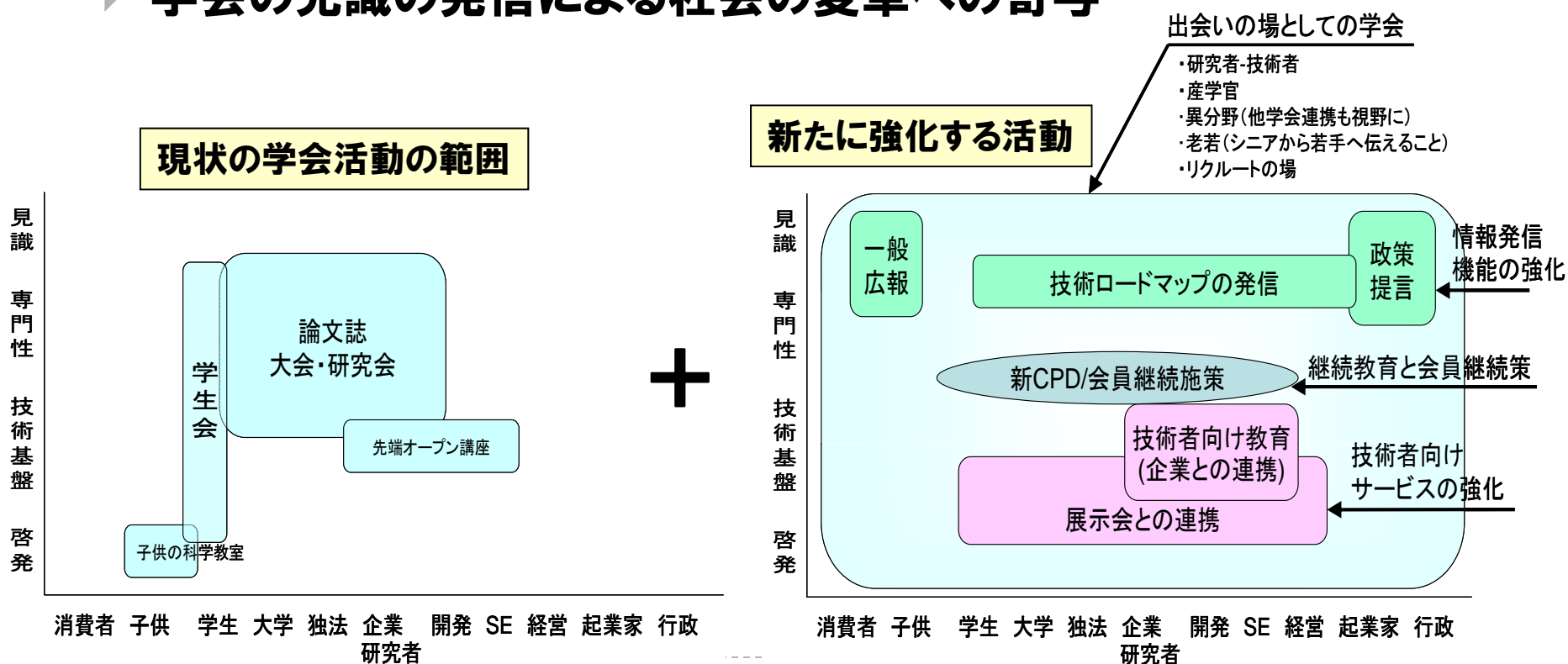


電子情報通信学会として取り組んでいること、取り組もうとしていること

電子情報通信学会の活動範囲拡大を

- ▶ 研究者中心の学会から、企業や企業所属の技術者にとっても魅力のある学会に
 - ▶ 企業、技術者向け学会価値の向上策を検討（WG活動）
 - ▶ 学会の見識の発信による社会の変革への寄与



取り組んでいること、強化すること

▶ 学会としての見識の発信強化

- ▶ 技術トレンドの発信
- ▶ 政策提言
- ▶ 標準化への提案
- ▶ ビジネスモデルの理解・議論

▶ 産官学連携の橋渡し

- ▶ 技術議論と他流試合の場の提供
- ▶ ネットワーキングの場の提供(本日のシンポジウム)
- ▶ 他学会との連携

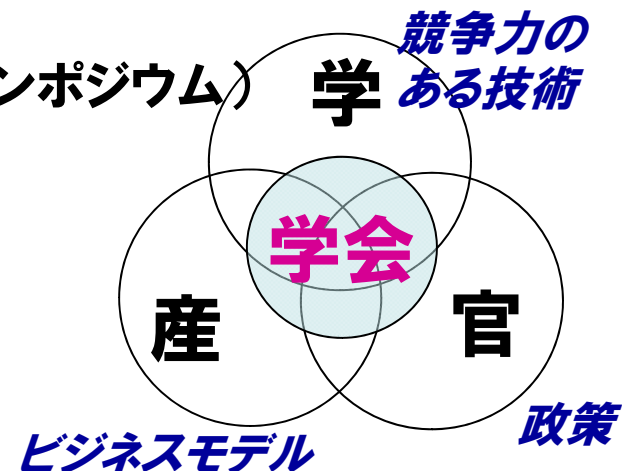
▶ 人材育成への貢献

- ▶ プロジェクトマネジメント
- ▶ ビジネスモデルデザイン
- ▶ 技術者継続教育(CPD)
- ▶ グローバル対応

電子情報通信学会
The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

【 内閣府総合科学技術会議および総務省の政策に対する基本的な提言 】

学会からの提言の強化



取り組もうとしていること

- ▶ **活発な研究会活動の領域を拡大**
 - ▶ 融合領域への積極的展開（ICT技術が活用される局面が増加）
 - ▶ 社会課題を学会として把握し、科学技術の見識から将来の方向性や制度について研究・議論する場
- ▶ **展示会との連携の具体化**
 - ▶ まずはCEATECをターゲットに
- ▶ **社会と学会の接点である支部の活性化と横展開**
 - ▶ 理科離れへの対応（例 高校生への働きかけ）
 - ▶ 地域での産学官連携
- ▶ **学会会長・幹部による他機関との意見交換**
 - ▶ 企業や省庁と（今回のシンポジウムの機会に開始）